

全国健康保険協会 鹿児島支部 評議会資料

- ・ 第2期データヘルス計画の概要について
- ・ その他
 - ① 平成30年度健康保険委員表彰について
 - ② 特別計上分に係る鹿児島支部経費
(平成30年度予算)



第2期データヘルス計画の概要について P3～

平成30年度健康保険委員表彰について P4～

特別計上分に係る鹿児島支部経費(平成30年
度予算) P8～

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画) 健康課題、目標をイメージするシート

②上位目標を設定する
【重大な疾患の発症を防ぐ】
(10年以上経過後に達する目標)

1.人工透析を受ける人を減らす。人口1万対 10.4人 → 9.0人
2.脳血管疾患に罹患する人を減らす。入院外受診率 66% → 45%

③中位目標を設定する
【検査値等が改善する】
(6年後に達成する目標)

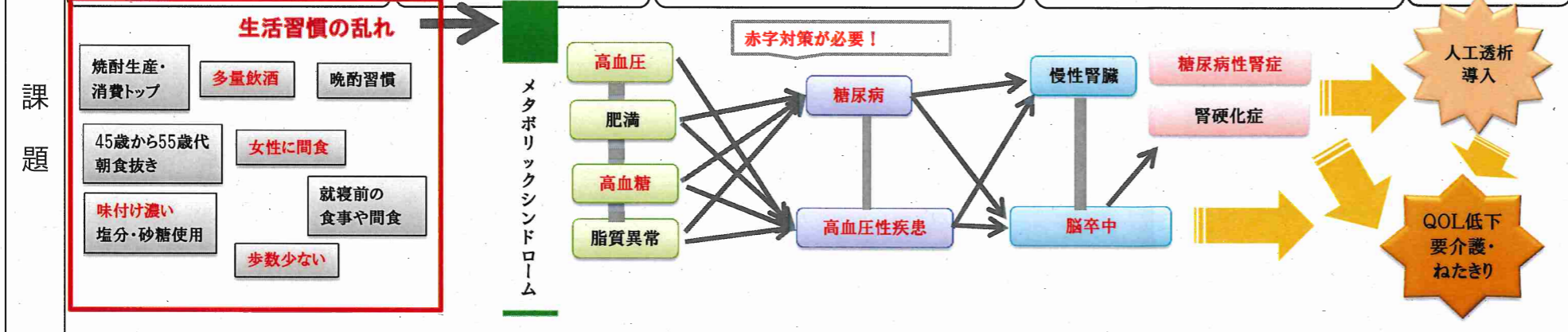
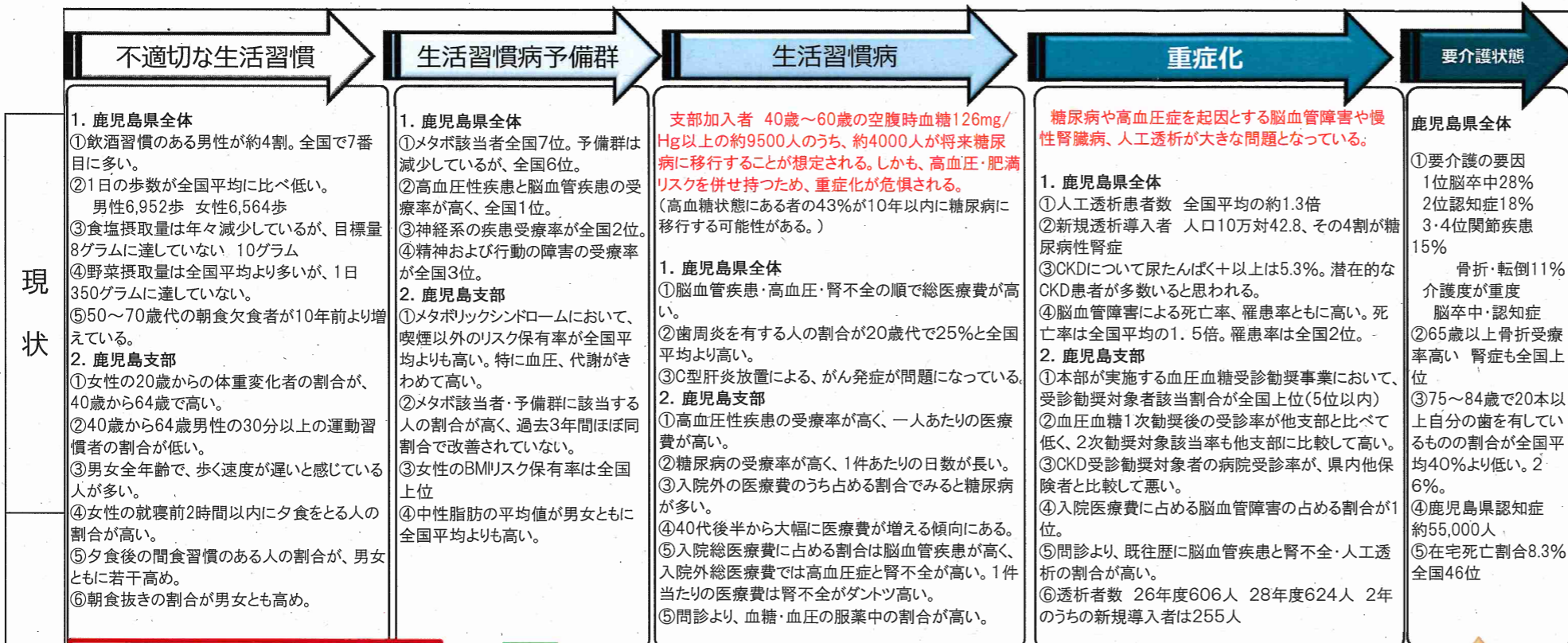
・特定保健指導対象者の減少率を18.2%から20%にする
・高血圧受診勧奨域の者(Ⅰ度・Ⅱ度 健診受診者リストより)を28年度より660人減らす。
・高血糖受診勧奨域の者(健診受診者リストより)を28年度より400人減らす。
・CKD受診勧奨対象対象当率を「2.9%から2.5%」に減少させる

①対策を図る健康課題を絞る

Zスコア等の分析結果や他情報から健康課題やそれ以外に気になること(自支分の特徴などを診る)

④中位目標達成に近づくための
下位目標を設定する

生活習慣や実施率等がどのように変われば
期待する成果に近付けるか?(数値目標)



自分自身、自分の家族、従業員の健康が大事だと実感し、行動する人や会社が増える。

1. 健康経営・健康づくりに取り組む事業所が増える。 2. 生活習慣の改善に取り組み、好ましい生活習慣が習慣化する人が増える。 3. 健診を必ず受け、必要な治療を継続する人が増える。

重症化・未治療者への受診勧奨とかかりつけ医と連携した保健指導

特定健診・特定保健指導(健康相談等)の推進

健康経営とコラボヘルス(職場の健康づくり支援)の推進

無関心層・関心希薄層への働きかけ(広報・情報発信)、加入者の生活背景を意識した、しかけづくり、医療機関や行政・民間企業との連携

事業名	優先順位	下位目標	実施年度
健康経営・コラボヘルス	1	I. 健康経営の考えを理解する事業主や担当者の増加 II. 従業員の健康増進及び健康管理に取組む事業所の増加・健康宣言事業所の増加	30年度～35年度
特定健診・特定保健指導・その他	1	I. 生活習慣病予防健診の受診率アップ ・生活習慣病予防健診の受診率を平成35年度末で64%とする。 ・生活習慣病予防健診の受診者数を平成28年度実績より40,000人以上増加させる。 II. 事業者健診の取得率アップ ・事業者健診結果データの取得率を平成35年度末で11%とする。 ・事業者健診結果データの提供件数を平成28年度実績より8,500件以上増加させる。 III. 被扶養者の特定健診受診率を平成35年度末で30%とする。 ・被扶養者の特定健診受診者数を平成28年度実績より7,000人以上増加させる。 IV. 被保険者の特定保健指導実施率を平成35年度末に36.75%とする。 (被保険者被扶養者合計実施率:35%) ・被保険者の特定保健指導実施者数を平成28年度実績より6,000人以上増加させる。 V. 被扶養者の特定保健指導実施率を平成35年度末に4.0%とする。 (被保険者被扶養者合計実施率:35%) ・被扶養者の特定保健指導実施者数を平成28年度実績より50人以上増加させる。 VI. メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合を減らす。 予備群28年度15.4% 18,096人 35年度までに14.7%(約700人減) 該当者28年度12.8% 15,121人 35年度までに12.3%(約600人減)	30年度～35年度
重症化予防対策	1	I. 高血圧・高血糖者の重症化予防 ①最高血圧160mmHg以上もしくは最低血圧100mmHg以上の未受診者の割合が減る(参考値:H28年度、3,197人、2.6%) ②空腹時血糖値が126mg/dl以上もしくはHbA1c6.5%以上の未受診者の割合が減る(参考値:H28年度2,015人、1.6%) II. 糖尿病性腎症の重症化予防 ①空腹時血糖値が126mg/dl以上もしくはHbA1c6.5%以上の未受診者の割合が減る(参考値:H28年度、2,015人、1.6%) ②CKDリスク保有者の未受診者割合が減る(参考値:CKDリスク保有者の未受診者割合 H27年度2.3%) III. CKD予防の重症化予防 ・CKDリスク保有者の未受診者割合が減る(参考値:CKDリスク保有者の未受診者割合 H27年度2.3%) IV. 重症化予防(脳卒中、CKD予防、高血圧、高血糖予防)のための他機関との連携による広報、周知事業 ①CKD認知度が上がる ②脳卒中予防認知度が上がる	30年度～35年度

平成30年度健康保険委員表彰について

全国健康保険協会健康保険委員表彰実施要綱

1. 目的

この要綱は、全国健康保険協会支部長が委嘱する健康保険委員の表彰に関する事項を定めることを目的とする。

2. 表彰

健康保険委員にかかる表彰は、健康保険委員の功績により次のとおりとする。

(1) 支部長表彰

健康保険事業の推進、発展のために尽力された健康保険委員に対して、全国健康保険協会支部長より表彰を行う。

(2) 理事長表彰

健康保険事業の推進、発展のために尽力され、特に活動が顕著な健康保険委員に対して、全国健康保険協会理事長より表彰を行う。

(3) 厚生労働大臣表彰

多年にわたり健康保険事業の推進、発展のために尽力され、特に活動が顕著な健康保険委員に対して、厚生労働大臣より表彰を行う。

3. 健康保険委員表彰審査委員会

表彰対象者の審査等のため、支部及び本部にそれぞれ次の委員会を置く。

(1) 支部健康保険委員表彰審査委員会

支部長表彰対象者の審査、理事長表彰推薦対象者及び厚生労働大臣表彰候補者の選出等を行う。

(2) 本部健康保険委員表彰審査委員会

支部長より推薦された理事長表彰対象者及び厚生労働大臣表彰推薦対象者の審査等を行う。

4. 表彰日

表彰は年1回行うものとし、表彰日は10月1日とする。

5. その他

この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成24年7月3日から施行する。

附則

この要綱は、平成26年6月19日から施行する。

平成30年度健康保険委員表彰対象基準数

支部		健康保険委員委嘱者数・表彰対象基準数			
		委嘱者数	支部長表彰 (200名)	理事長表彰 (500名)	厚生労働大臣表彰 (2,000名)
1	北海道	5,859人	30人	12人	3人
2	青森	1,551人	8人	4人	1人
3	岩手	2,114人	11人	5人	2人
4	宮城	3,270人	17人	7人	2人
5	秋田	1,575人	8人	4人	1人
6	山形	2,045人	11人	5人	2人
7	福島	3,001人	16人	7人	2人
8	茨城	4,113人	21人	9人	3人
9	栃木	1,819人	10人	4人	1人
10	群馬	1,807人	10人	4人	1人
11	埼玉	3,532人	18人	8人	2人
12	千葉	2,086人	11人	5人	2人
13	東京都	7,759人	39人	16人	4人
14	神奈川県	3,667人	19人	8人	2人
15	新潟	3,481人	18人	7人	2人
16	富山	2,664人	14人	6人	2人
17	石川	2,460人	13人	5人	2人
18	福井	2,219人	12人	5人	2人
19	山梨	1,315人	7人	3人	1人
20	長野	3,944人	20人	8人	2人
21	岐阜	2,924人	15人	6人	2人
22	静岡県	9,409人	48人	19人	5人
23	愛知県	13,232人	67人	27人	7人
24	三重	2,157人	11人	5人	2人
25	滋賀	1,315人	7人	3人	1人
26	京都	2,056人	11人	5人	2人
27	大阪	2,805人	15人	6人	2人
28	兵庫	2,108人	11人	5人	2人
29	奈良	1,265人	7人	3人	1人
30	和歌山	1,374人	7人	3人	1人
31	鳥取	2,135人	11人	5人	2人
32	島根	2,009人	11人	5人	2人
33	岡山	3,211人	17人	7人	2人
34	広島	4,687人	24人	10人	3人
35	山口	2,035人	11人	5人	2人
36	徳島	1,580人	8人	4人	1人
37	香川	2,411人	13人	5人	2人
38	愛媛	2,643人	14人	6人	2人
39	高知	1,430人	8人	3人	1人
40	福岡	3,451人	18人	7人	2人
41	佐賀	1,496人	8人	3人	1人
42	長崎	1,631人	9人	4人	1人
43	熊本	3,896人	20人	8人	2人
44	大分	1,802人	10人	4人	1人
45	宮崎	2,173人	11人	5人	2人
46	鹿児島	2,026人	11人	5人	2人
47	沖縄	2,097人	11人	5人	2人
合計		139,639人	727人	305人	94人

平成30年度健康保険委員表彰スケジュール

時期	取組み事項	主体
6月中	健康保険委員表彰の実施通知	本部 ⇒ 支部
～7月中	表彰候補者の選出及び審査	支部 (表彰審査委員会)
7月末日まで	推薦書等の提出	支部 ⇒ 本部
8月中	協会本部における審査	本部 (表彰審査委員会)
8月末日まで	大臣表彰の推薦者を保険局へ報告 理事長表彰者決定の通知	本部 ⇒ 厚生労働省 (保険局) 本部 ⇒ 支部
9月中	厚労省における審査	保険局 (表彰審査委員会)
9月末日まで	大臣表彰者決定の通知 表彰状等の配送 (理事長表彰、支部長表彰、大臣表彰)	保険局 ⇒ 本部 ⇒ 支部 本部 ⇒ 支部
10月31日まで	表彰状の配送 (大臣表彰)	保険局 ⇒ 本部 ⇒ 支部
10～11月中	表彰の伝達	支部
11月	協会けんぽホームページへの掲載	本部

平成30年度 健康保険委員表彰 候補者リスト

フリガナ 氏 名	事業所名	事業所所在地
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田
（全労済直営分署） 堀本 一 氏	（株）住友生命 東京支店	東京都千代田区千代田

※ 現在、過去の関係表彰歴など確認中

特別計上分に係る鹿児島支部経費(平成30年度予算)

(単位:千円)

事項	取組名	実施内容	支部予算枠 (総報酬按分)	所要経費		特別計上分
				経費内訳	総報酬按分	
その他の保健事業	●支部予算枠を超過する部分が特別計上分となる (継続事業) 「CKD予防ネットワークプロジェクト」事業の協力連携	鹿児島市など現在5市町村とCKD予防ネットワーク事業での共同実施を中心に、県内全域の適用事業所並びに加入者に対して、引き続き、早期受診を促進するための広報や周知、イベントの企画、対象者への受診勧奨事業を実施する。	4,452	802	861	0
	(新規事業) 有所見者の多い事業所を対象とした事業所と連携した意識啓発活動と健康づくり支援	特定保健指導の実施勧奨だけでなく、未治療者の受診行動を事業所とともに後押しすることを期待する。また健康宣言事業所など、事業所の2次検診勧奨対象者への取り組み支援	59			
医療費適正化	●全額が特別計上分となる 債権回収強化対策	債権回収業務の一部を外部委託し、債権回収強化を図り債権額の減少、及び専門知識を持つ業者のノウハウの蓄積を図る。		5,000	5,000	5,000
広報・意見発信	●支部予算枠を超過する部分が特別計上分となる ・紙媒体による広報	定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等	4,111	2,257	4,111	0
	・地方自治体や関係団体との連携強化 (継続事業) 関係団体とのイベント開催	市町村等が行うイベントに測定ブース等を出展し連携強化を図る 簡易的な健康チェックを通して現状把握、生活習慣改善のきっかけづくりを行い、また協会けんぽの認知度及び事業のPRを行う。		312		
	・その他の広報 (継続事業) バスアナウンス放送	企画会社が企画したバスの車内アナウンスによるジェネリック医薬品利用促進放送に協賛し、新たな層に対してジェネリック使用促進広報を行っていく。		308		
	・全額が特別計上分となる (継続事業) 全高校卒業生向けの記念新聞による広報	県内の高校卒業生に対して発行されている記念新聞に広告もしくは記事を掲載し若年者に対して健康保険教育の一環として掲載する。またこの卒業生青春企画の特典として地方紙及びテレビCMを安価でできる。		1,234		
	●全額が特別計上分となる			0		

特別計上分経費(計)

5,000千円

